

5. 全体構想図

学校教育目標

心豊かでたくましく、すすんで学び合う子の育成

研究主題・副題

すすんで学ぶ子 ～国語科の授業を通して～

国語科の研究授業を通して

研究の成果や課題を共通理解し、
教師の授業力向上を図る。

子供の主体性が発揮され
自信と笑顔があふれる姿

日々の授業において

「たちのスタイル」の共通実践を
行い、児童の学力向上を図る。



重点1

主体的に学ぶための単元構想

- ・国語科を柱としたカリキュラムマネジメント
- ・相手意識目的意識のある言語活動
- ・見通しある学習計画（ゴールの共有）
- ・学びの変容を自覚できるふりかえり

- (1) 課題をつかみ、見通しをもつ
- (2) 学び合う
- (3) まとめ、ふりかえる

- 児童の具体的な姿で捉えたゴール設定
- ・すすんで学んでいる具体的な姿
 - ・学びが深まった具体的な姿

重点2

学びが深まる手立ての工夫

- ・つきたい力の明確化
- ・協働的な学びが生まれる手立て
- ・学びの見取りと効果的な手立て
- ・まとめを自分の言葉で表現する手立て

単元を見通した教材研究（つきたい力の明確化）

学びを支える学習基盤づくり

(1) 学び合う学習集団づくり

話す・聴く・反応する
学びの土台づくり

生徒指導部の視点を
生かした授業づくり

児童の主体的な取組
による特別活動

(2) 基礎基本の定着（漢字・計算） (3) 家庭学習の習慣化 (4) 読書活動の促進・充実

指導改善を進める体制づくり

(1) 日常的な研究 (2) 研究授業、事前研、事後研の実施(助言者の招聘) (3) OJTの実施